

春になり、寒さも和らいできた。
ひきつづき悪友による妹への調教は続いている。
この数か月で、妹の身体はだいぶん開発されたが
心はいまだ折れてないらしく、
調教されていることをだれにも悟られないよう
妹は必死に我慢を続けていた。（勿論俺に対しても）



どうやら悪友曰く、最近は、調教されていることを
隠して、耐える

というこの状況自体に強い快感を覚えるようになって
しまったっているらしい。妹よ：変態ドMちゃんの素質が
あったんだね：俺は嬉しいよ：（涙）

で、悪友に教えて貰った今日の調教スケジュールによると、今日は一日中全身触手服による快樂責めのまま、地元の中心街を朝から晩まで連れまわして、無様なアへ顔を晒さず一日堪えられるか挑戦させるらしい。：で、俺はというと、そんな可愛い妹の様子が見たくて偶然を装って、ちょっかいを付けに来たのさ。



いまはちやうどお昼ってことで、公園で休憩中らしい今さっきまでは、人の多い大通りやデパートの人込みの中なんかで、発狂寸前の絶頂地獄を味あわされ続けていたらしい。誰にもバレずに我慢しきれてしまったら、難易度アップで、昼も休まず絶頂地獄と言われていたらしいが、あの様子だと、我慢し続けたみたいだな。：どれ、そろそろ声をかけてみようか。

「よう、こんなところで奇遇だな。彼氏とデートか？」
「ふえ！？え！お、おにいちちゃん！？…き、奇遇だね。」
「お、もつと慌てるかと思っただが、すぐに冷静を装ったぞ。」
「か、彼氏なんているわけないじゃん！…！ッふあ！」
「あ、えと、きよ、今日はねッ…！と…友達と…」
「街で遊んでるだけ…っひ！」



おお！普段、かなりの快樂責めでも一声も漏らさない妹から嬌声が漏れるとは、よっぽど強い快感を与えられているらしい。必死に声を漏らさないようにしてるのが面白いから、もう少し居座ってやろう。

たわいもない話をして5分くらいも経つと、もう妹は限界みたいだ。よっぽどみたいだな。後から確認してみたところ、どうやら、休憩中に知り合いに話かけられた場合、会話回数1回につき、快感が倍になっていく状態だったらしい。それは悪いことをした。会話回数的に、数百倍程度だとは思うが、午後もある身からすればたまったもんじゃない。なかつただろう。

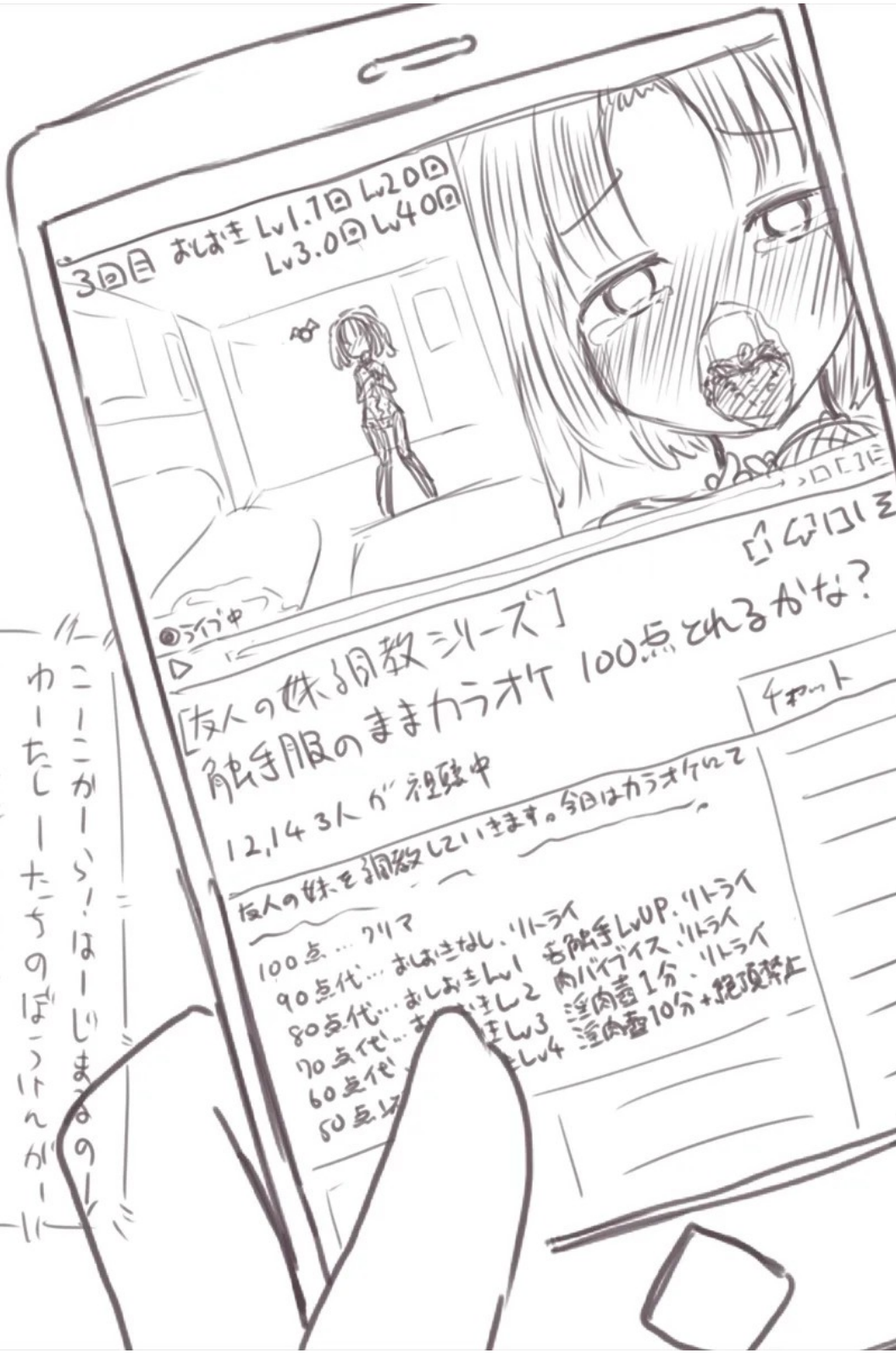


そしてどうやら、妹は、口にもなにか細工をされていたらしい。返事をするごとに、だんだん口ごもるようになっていったのが不思議だった。そして、どうやら、午後はカラオケに行くらしい。気になるから、別れたフリして俺もカラオケにこつそりついていてみよう。

カラオケでは妹が触手服だけの恰好でエッチな声を
押し殺しながら、必死に歌を歌っている様子が扉の小窓
から観察できた。あの感じは、魔界の動画チャンネル
でライブ配信してる感じか？
どれ、アクセスしてみよう：



お、これだこれだ。なるほど：カラオケ時間が
 終わるまでに百点出せなきゃお仕置きって感じか。
 なになに：50点以下で、おしおきレベル4：『淫肉壺に絶頂禁止のまま10分間幽閉』：なるほどね。
 これを喰らわせるのが目的か。午前中も、休憩中の
 俺の訪問も耐えきつちゃったから、夕方の連れまわしに
 向けて、一気に難易度を上げさせるつもりだな。



淫肉壺は俺たちもお気に入り、調教道具で、
短時間で恐ろしい効果が出せるためよく使ってる。
ただ、うちの妹みたいに普段から触手の暴力的な快感に
慣らしてから使用しないと壊れる原因になるから注意が
必要な調教道具だ。

使い方はシンプルで、壺の中にぶち込めばそれで完了
あとは適当に待つて取り出せば、桁違いの発情と絶頂を
経験した哀れな少女が一人出来上がる。



からくりとしては、壺の中では実時間と体感時間に
ずれが生まれてて、数分の時間経過がまるで何時間にも
なるつてやつ。魔界ものだとよく見るだろ？

妹も何回か調教に使われたことあるハズだから基本的な性能はわかると思うけど、気になるのは悪友が、今日はこういう設定にしているかだな：

もちろん、一分あたり何時間にするのとか媚薬なにするのかとか、絶頂禁止は寸止めなのか不可なのか蓄積なのか、とかもあるが、今気になってるのは、実時間と体感時間のずれをどう感じさせるかかな。

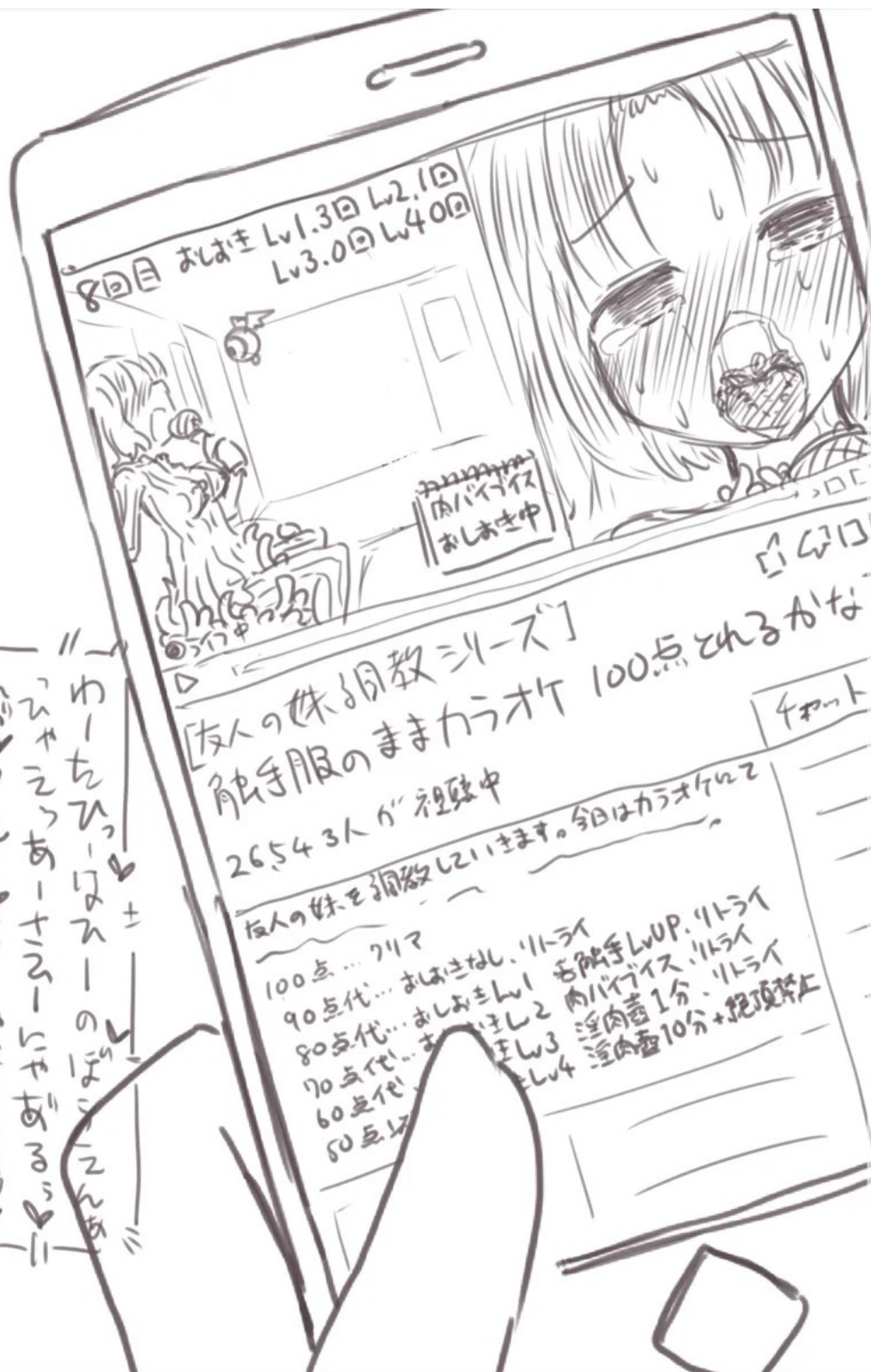
tentacle pot



実は実時間と体感時間のずれにも感じさせ方がいろいろあつてさ。基本的には本人は実際に数年間責めを受けていたと感じさせるが、ほかにもいろいろできるし、今回はカラオケにしていることを忘れさせないためにも、ひと工夫してる気がするんだよね。

とかなんとか言ってた、結構時間たってるな。
 妹は：と、おしおきレベル2になっちゃったか。
 肉バイブイスに座って三つ穴突かれながら歌うのは
 さすがの妹でも厳しそうだな：これはあとは悪化する
 一方だな。もうだいぶろれつが回ってない。

それに：よく見たら、舌にも触手着けてるのか。
 だとしたら結構健闘してるな：さすが我が妹。



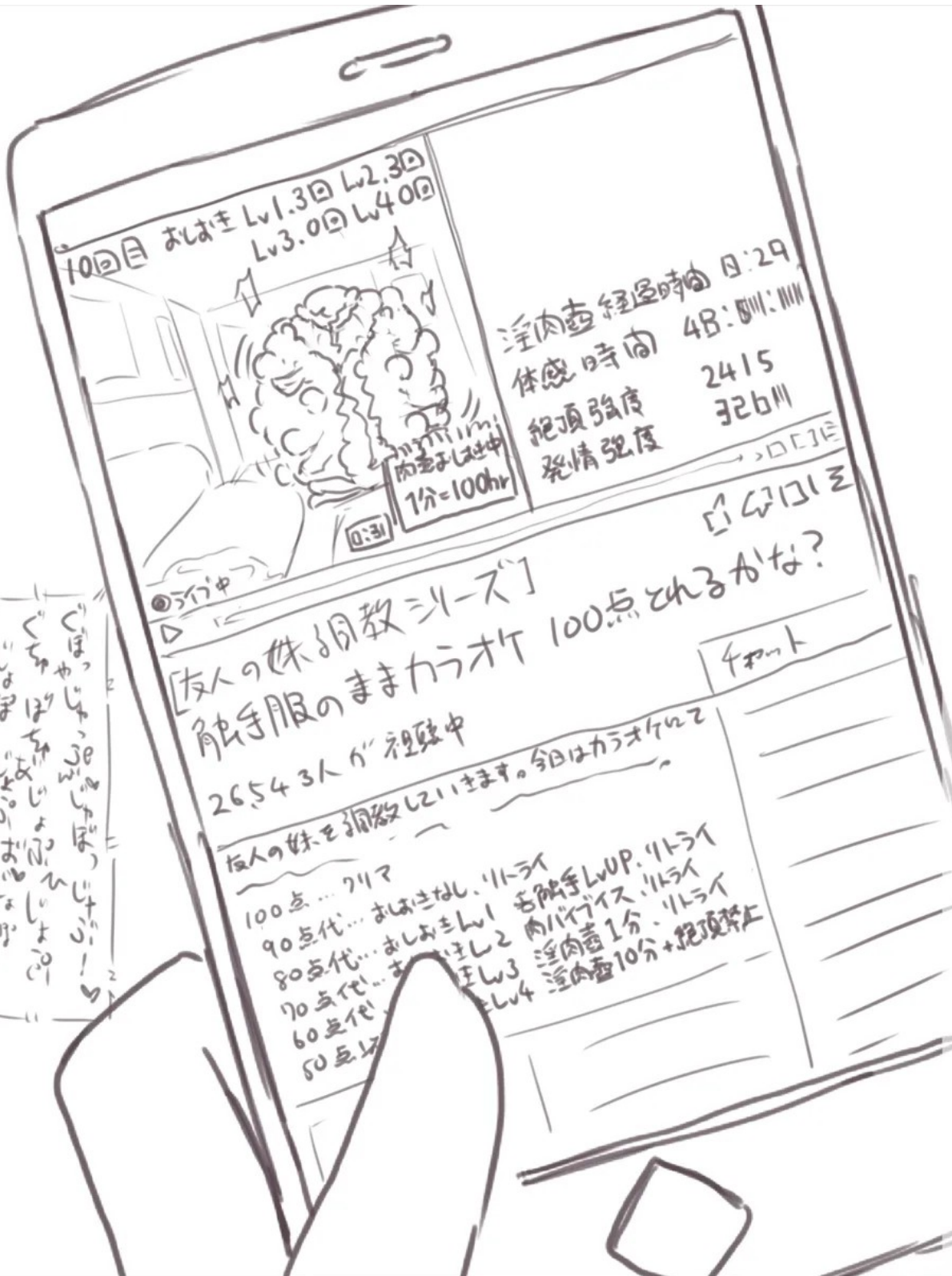
わーちびーのばーん
 っやえーあーなーいさずる
 ーんおやえーなやなやうーいー
 ー

舌用の触手は、最近開発した新型で、基本的にはクリトリスや乳首につけるカバー型触手の応用なんだが舌を動かせば動かすほど、舌の根元のスポイト状の部分がつぶされて根元に突き刺さった極細針から、スポイト内の高濃度媚薬が注入されて、どんどん舌の感度が跳ね上がる仕組みになってる。

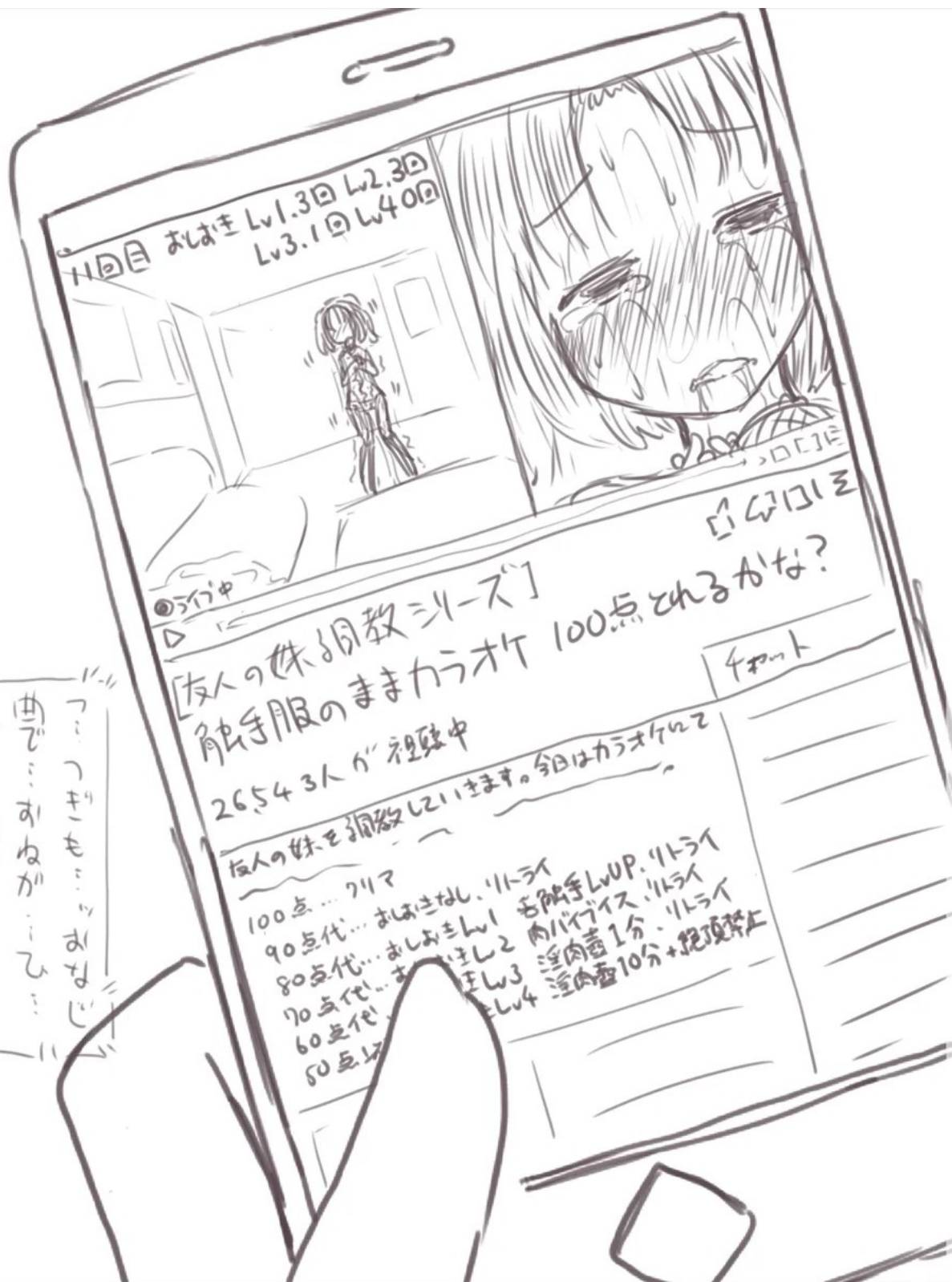


スポイト部分の高濃度媚薬は、口の中の唾液を回収してすぐに再蓄積されるので、出し切っても尽きることはないようになっている。舌先のカバー部分は、常に舌を舐る為にうごめき、常にディープキスのような甘い快感を装着者に与え続ける。完成したのはつい先日で、悪友はテスト相手を探してたけど、うちの妹にしたんだな。実にいいと思う。それでカラオケか。

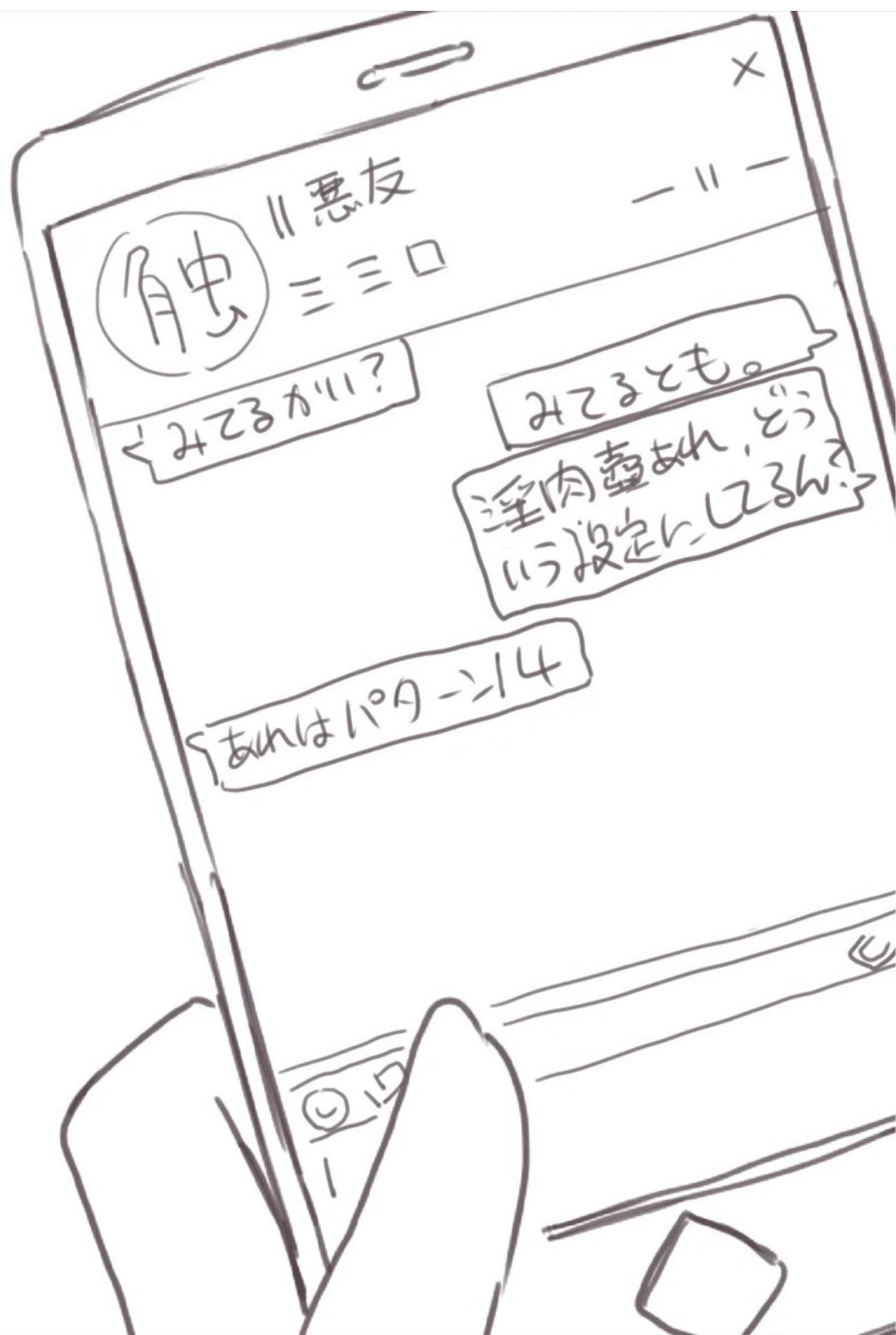
そんなこんなで10回目、ついに妹は63点を出して
 しまい1分間の淫肉壺責めを受けることになった。
 おお、一分あたり100時間か：さすが悪友、全く
 容赦がない。妹にとっても初めてレベルの長期間責めじや
 ないかな...？さて、あと30秒か。どう仕上がるかな？



おお。出てきてすぐマイクをとるとは：すごい。
 まだやる気があるんだな：あれかな？肉壺のなかで、
 チャレンジ続けないと残り時間ずつとするぞって
 脅されたかな？それにこの感じは、あまり中で時間を
 感じてなさそうだな。やっぱりなんか工夫してそうだ。



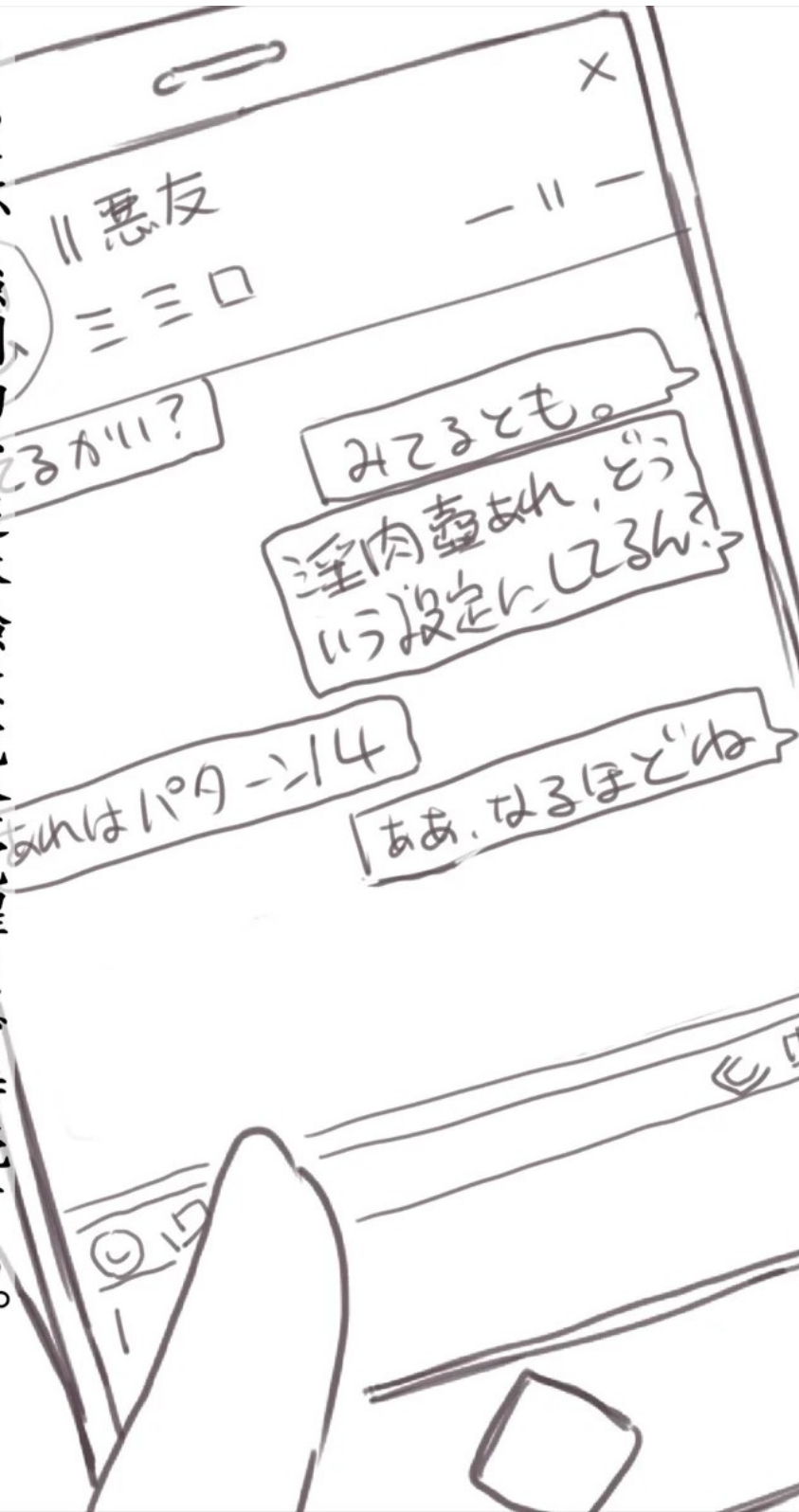
っ...っ...も...おなじ
 っ...っ...おなじ
 っ...っ...おなじ

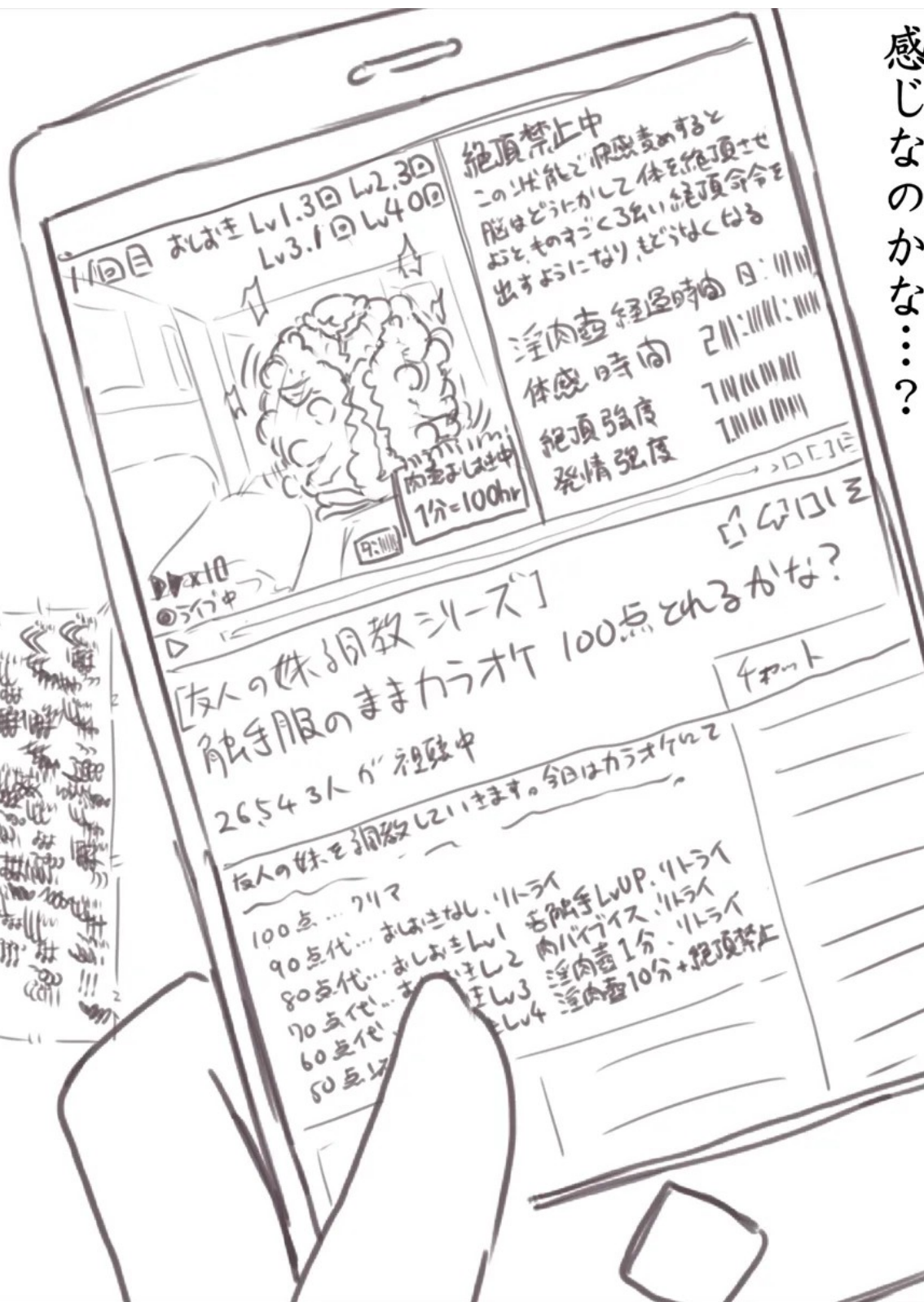


と思ったら悪友からメッセージが届いたので聞いてみた。
なるほど「パターン14」ね：体感時間を延長させて
さんざん感じさせたうえで、延長時間分の記憶を解放時に
封印して、解放した瞬間には体感でも1分しかたつてない
とした後、身体は100時間分の快感を経過
妹には実際の時間しか伝えてないだろう。おそらく悪友は

妹が実際は100時間苛め抜かれたことに気が付くのは少し後になるだろう。1分しかされてない割には尋常じゃなく身体がけだるいとか、めっちゃくちゃ発情してしまっているとかはすぐ気が付くと思うが、記憶の封印が解かれるのは今日の夜眠りについた瞬間だ。それでも、夢の中での強制的な高速追体験付きでだ。

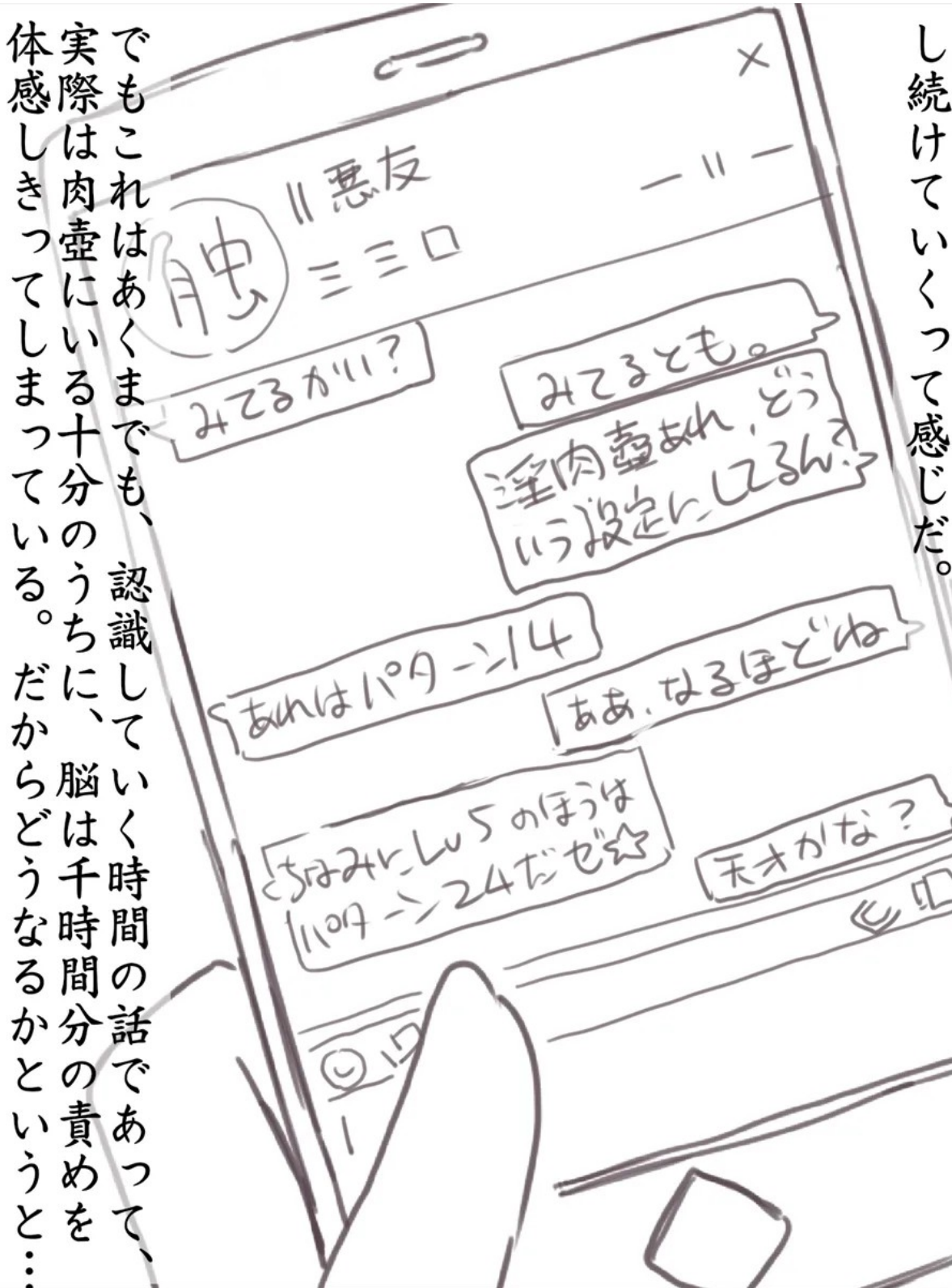
さらに、強制的な追体験は完全覚醒まで持続する。つまり起きかけて、まどろんでる時間もずつと追体験が終わらない羽目になる。ふふふ：明日の朝はおにいちやんが起こしに行つて、完全に起きるまで隣でずつと見ていてあげることしよう。





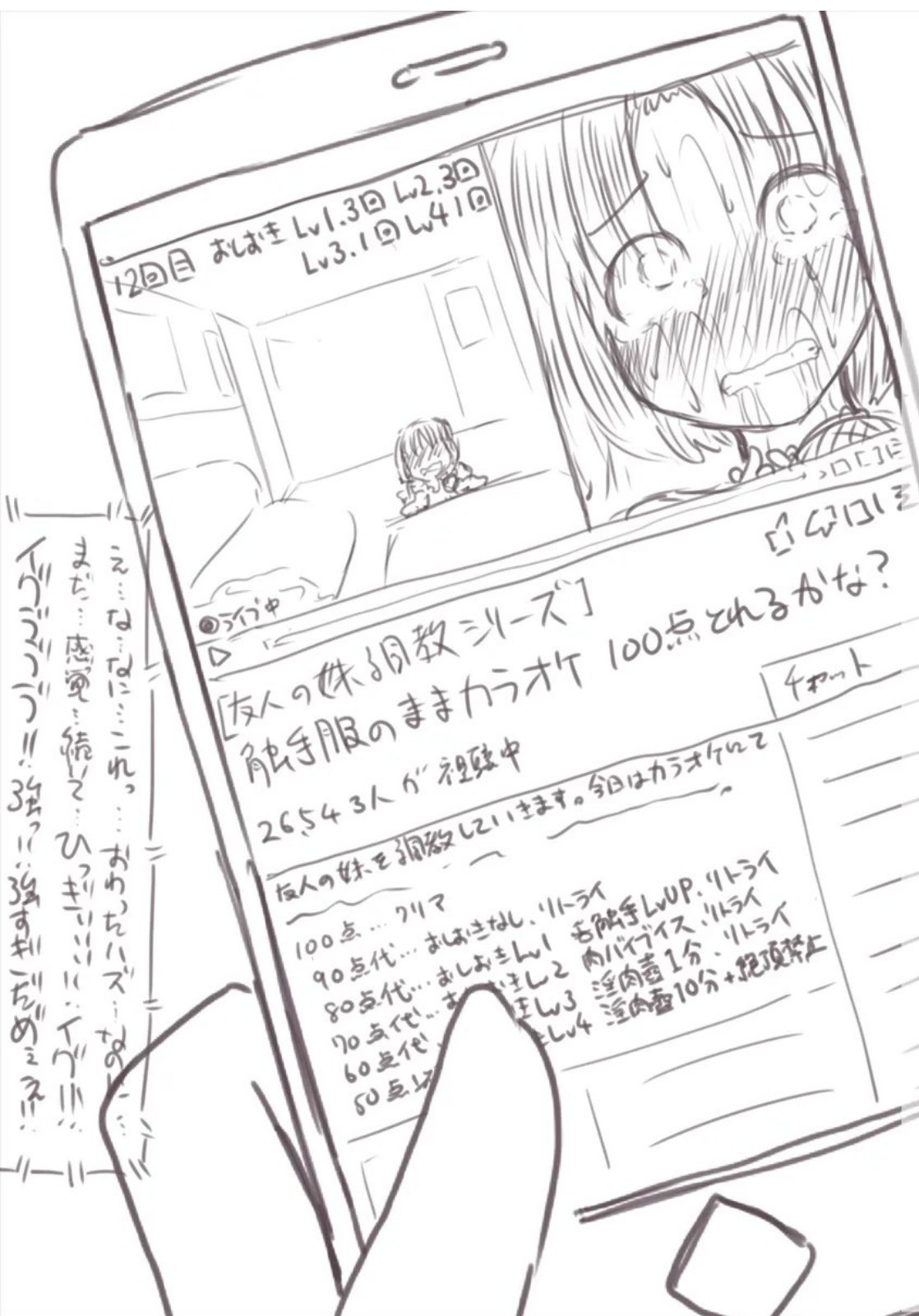
絶頂禁止は、肉体だけのパターンか。脳がイカない体はどうにかイカせようと、どんな強い絶頂命令を身体に送るようになるタイプだな。いやあ、でも1分で100時間ってことは、10分だと千時間か。すごいねえ。大体1か月と少し。って感じだったか。これも妹には10分間だけと錯覚させて、あとできちつと追体験させる感じなのかな？

と思ったら、違うらしい。パターン24っていうと、体感時間の延長が実時間と等倍速で行われる奴か。つまり、例えば十分で千時間なら、十分後に解放された時点では、妹は実際に十分間責められた時点の感覚までしか知覚できてないんだが、その後999時間50分に渡ってリアルタイムで肉壺の中で味わった感覚を知覚し続けていくって感じだ。

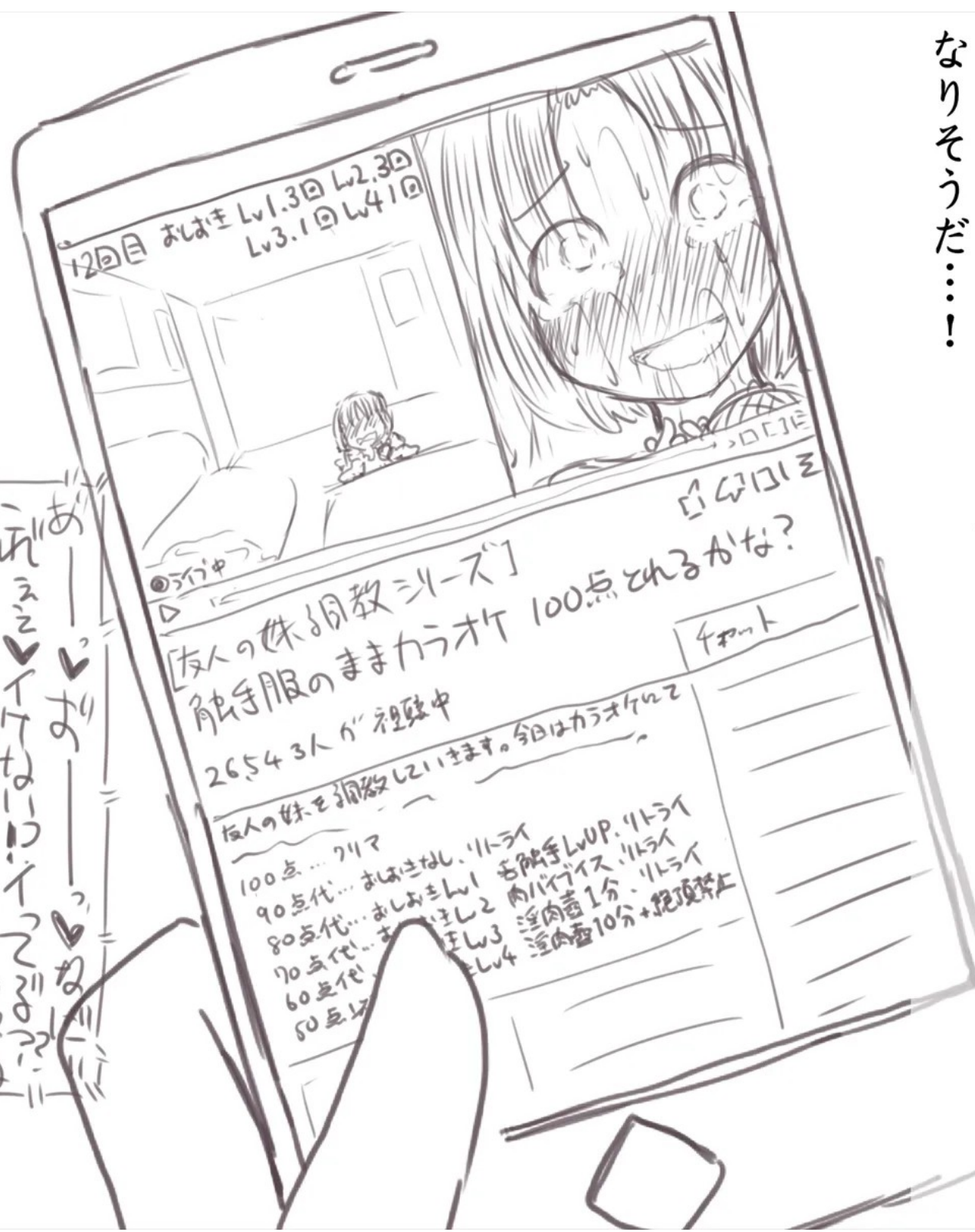


でもこれはあくまでも、認識していく時間の話であって、実際は肉壺にいる十分のうち、脳は千時間分の責めを体感しきってしまったっている。だからどうなるかというところ…

こんなふうに出てきたあとも、触手壺の中でイクことができないもどかしい感覚のまま、現実の触手服絶頂を同時に味わう羽目になるわけ。しかも、脳は絶頂時に無理やりイカせようと頑張った時の命令強度のままだから、今までとはけた違いの絶頂を喰らうことになるし、肉体も、千時間絶頂禁止だったことになってるから絶頂時の解放感がとんでもないことになっているのだ。

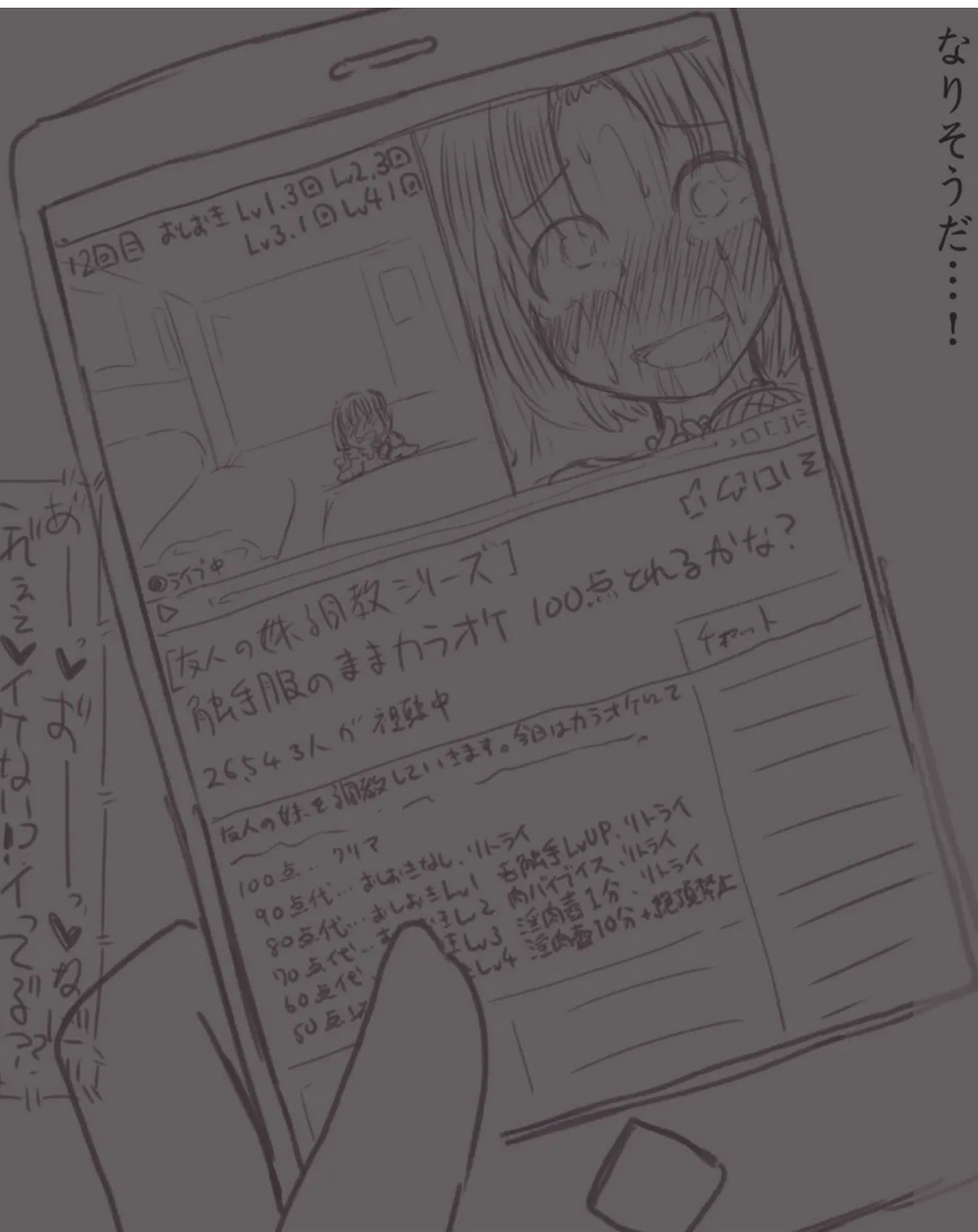


状況に追いついてないのは、本人の知覚だけ。これから999時間50分かけて、イケない気持ちを醸成させられるわけだけど、よく考えたらまだ、カラオケ時間結構のこつてるな。これは思ってたよりもすごいコトになりそうだ...!

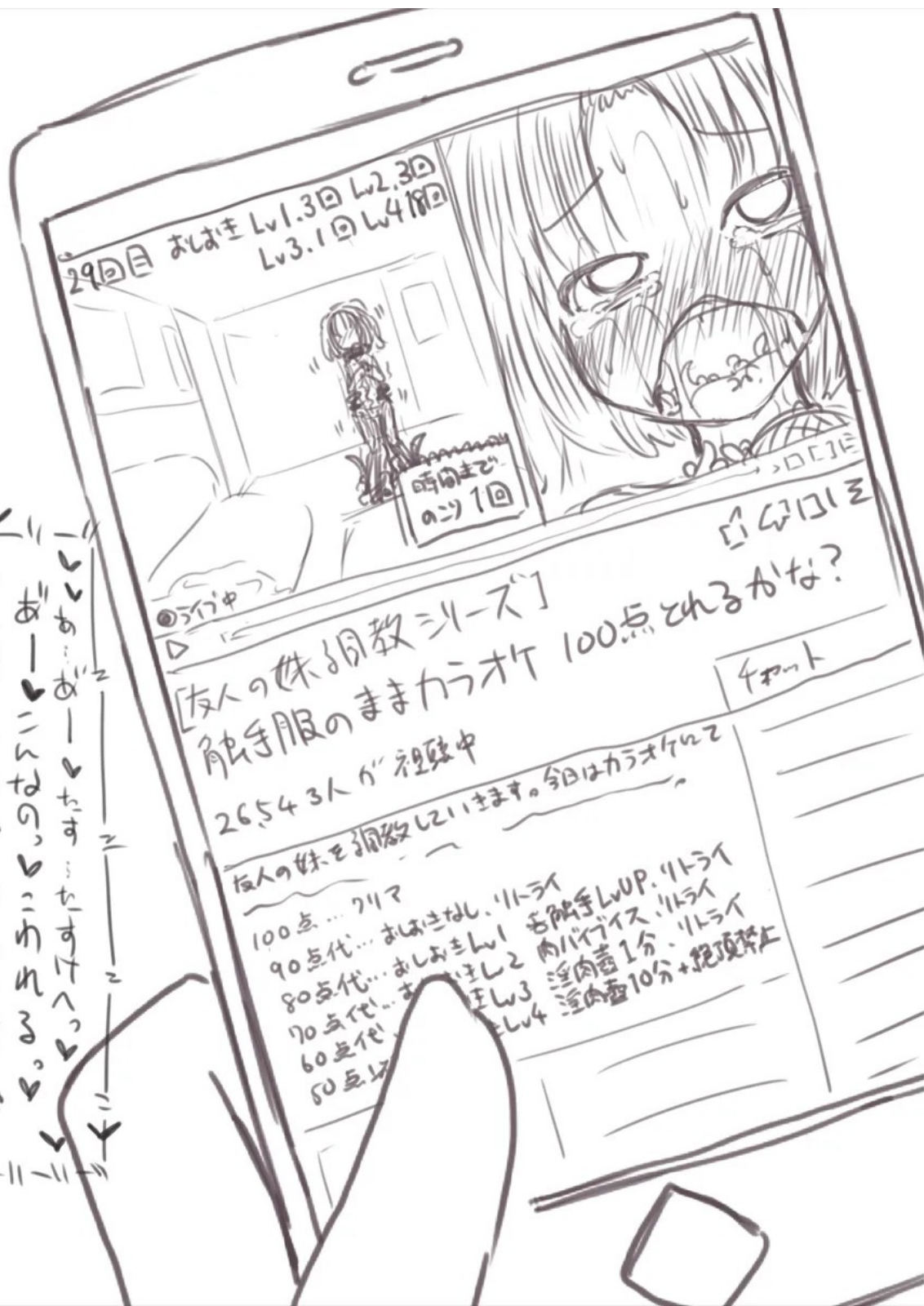


うかん... 100点... 711... 90点代... おはきなし... 80点代... おはきなし... 70点代... おはきなし... 60点代... おはきなし... 50点代... おはきなし...

あー♡お♡な♡



あー♡ あー♡ あー♡
あー♡ あー♡ あー♡
あー♡ あー♡ あー♡



最終的に妹は、
これから999時間近くかけて、
約20回分、実に2万時間分の
絶頂禁止責めを20回分、
同時進行の状態で味わいながら、
2万時間分、絶頂を禁止された肉体と
それをイカせようとした脳が織りなす
異常絶頂の狂乱も、同時に受け止める
生活を送らされることになった。



てな感じで夕方。ようやくカラオケから解放された妹は、また街を連れまわされるらしい。その前に休憩時間があるようだから、再度偶然を装って近づいてみることにする。おお、ありえないほどの快感を身に受けてるはずなのに、こうしてみると全然わからないな…凄い…



「お、また会ったな妹よ。
今日は何時くらいに帰ってくるんだ？」

「ツン……！お……おに……ちや……！」

「おどかさ……ないで、よ……びつくり……した……
じゃ……ンおつ……！お！あ！」

「ひ……あ……！な……なんでもなつ……ンぐ……いま……だめッ……」

「おお、いつになく取り繕いきれてない。かわいい。」

「どした？むせたのか？背中さすろうか？」

「いらなつ……やめて……まゆはッ……大丈夫……だからあ……！
さき……かえつて……つあ……ハッ……！」



「顔真っ赤にして、かわいいなあ
あんまりやると、これでも気が付かないのは変だと思われそうだな、この辺でやめておくか。」

「ん、そうか。じゃあ俺は帰るから」

「お前もあんまり遅くなるなよー？」

「わ、かつた……おに……ちや……ツン……！……！」

と、今回はそんなところだ。ちなみに、妹は俺より2時間おくれ位で家に帰ってきて、すぐ自分の部屋に駆け込んでいった。さすがの妹も限界だったらしく、家に帰る前に、悪友に泣いて頼んで、寝て朝起きたら10回イクまでオナニーし続けてしまう催眠暗示と引き換えに、触手服を脱がせて貰ったらしい



翌朝、俺に適当な理由で無理やりに起こされた妹は、なかなか退室しない俺に

必死に悟られないようにしながら、

100時間分の絶頂地獄の追体験のまどろみを耐え

ながら、強制オナニーで絶頂することになるのだが…

まあ…それは別の話。



おにいちゃん、おにいちゃんみてえさこ
まゆ、まゆ、まゆ、触手服で全裸でするの、
こんな町中でこれにも気がつかないまま♡
触手で、まゆもみたくなぬ教うけるの、おあ♡



でもねー、まあ……ちんちんの……
が、マシするの……た……な……ま……い……し……
い……し……の……は……イ……な……の……す……
おに……ちゃんにも……と……も……だ……ち……に……も……知……ら……れ……な……く……ね……

だて
まはハなハナイゾ、さう……「中えち」な調教ナレて
よろこんじゅうハナイわの……♡たれもまづこんくねなからっ♡
たれもたすけなくれぬに♡のいふことナシ、たすけナシ♡
まゆは一でかかん♡のめろ♡なぞ♡ナキ♡しゅ♡ん♡ナシ♡た♡

10分後